

【2024年度 自己評価結果報告書】

2025年3月作成
飯倉幼稚園

1. 本園の概況

組織の目的

学園の経営理念（ポリシー）

時代の流れを的確につかみ、未来を担う子どもたちの健全な育成を目指し、満足できるサービスを提供することにより、地域社会に貢献してまいります

学園の経営目標（ビジョン）

地域に欠かすことのできない100年続く学園の想設

学園の経営方針（ミッション）

1. 「子ども」第一主義で行動する
2. 「教育」を通じて子どもの成長を促す
3. 「保護者」のニーズを的確に受け留める
4. 「人的・物的環境」の整備徹底を行う

幼稚園の教育理念（教育目的）

音楽を通じて情操教育とたくましい体力づくりで調和のとれた教育をめざす

幼稚園の教育目標（基本方針）

自ら立ち、自ら考え、他人を思いやることができる
真の「生きる力」をもった人物を育成すること

幼稚園の教育方針（教育内容）

1. 【健康】 幼児体育（体力を育む）
2. 【表現】 幼児音楽（感性を育む）
3. 【思いやり】 幼児体験（心を育む）・たてわり保育・食育

今後重点的に取り組む目標、計画

幼稚園の教育課程の内容を確認し、教職員の共通理解を図り、教育の質を高めるとともに、保護者のニーズを確認することで、本園としての中・長期のビジョンを明確化し、幼稚園が今後担う役割について検討する。

2. 昨年度の課題についての取り組み

課題 1	具体的な取り組み方法
指導計画について	保育の「見える化計画」3期目として、SDGsの視点から、昨年度見直した内容を「やってみる」を行う。さらに、実践、振り返りを繰り返しながら、子どもたちにとってよりよい保育、環境とは何か？を考え、指導計画を立てていく。毎月のカリキュラム時には、現在の子どもの様子を踏まえながら柔軟な保育が実践できるよう検討していく。
実際の取り組み	1年を通して全体での行事をすることが出来た。しかし、行事や保育をすべてそのまま戻していくのではなく、カリキュラムの見直し・実践を繰り返しながら、現在の状況や子ども達にあった形で行事や保育を行う事が出来た。指導計画について、年度初めに職員それぞれの目標を明確にし、保育を行う事が出来た。 (資料 1-1) 特に飯倉幼稚園の特色教育でもある、音楽と体育において、全学年での行事をみんなで経験することにより、年齢毎の成長や行事へ向かう気持ちを育てる事、相手を思いやり応援するなど様々な経験をすることが出来た。また、誕生会などの行事も学年の垣根を越えて発表することが出来た事や、保護者の方の自由見学の実施をしたことにより、園生活を送る園児の姿を直に保護者の方に見ていただき、保護者の方にも子ども達の成長を間近に感じていただくと共に、家庭との連携を更に図るきっかけとなった。 (資料 1-2)

課題 2	具体的な取り組み方法
教師の資質指導向上にむけて	指導計画と同様、「見える化計画」3期目として、SDGsの視点を持ち、業務教務改革を行う。また、指導力の向上を目指し、多くの園内外の研修に参加できるようにする。ティーム保育に力を入れて、同じ学年だけに関わらず、様々な学年の保育に参加すること、職員の保育の在り方を見学すること、学年合同で行う保育を実践する機会を増やすことを目標とする。さらに、交流保育などを通して他園の園児や教職員との関わりを持ち、自園を見直す視点を持つよう心掛ける。

<p>実際の取り組み</p>	<p>幼児期の心の発達にとって最も大切な事は、愛着形成といわれている。クラス内・学年毎の活動が園全体での活動として動く事が出来るようになり、他学年同士の交流も増えたことで、上の学年に対しての憧れや期待感をより持つことが出来るようになった。このことにより、チーム保育として様々なクラスや学年の保育に目を向け、参加することで、「全職員の眼で全園児の成長を見守ること」という目標を達成することが出来た。(資料 2-1) また、交流保育として連携施設保育園の園児を迎え、園児同士の交流を深める事ができ、地域交流の一環としても活動を行う事が出来た。(資料 2-2) 「見える化計画」の3か年計画としての長期目標、計画内容、方向性を職員で研究を重ね、SDGS＝「持続可能な幼稚園」を目指し、園内研修やリーダー会議にて課題や目標を見つける事が出来、チーム力向上に繋がった。特に今年は、月に1回、園内を職員で周り、改善点や疑問点を書き出し、毎月のリーダー会議にて書き出した意見を共有し、改善点を考察・見直すことが出来た。(資料 2-3) 5月には職員研修として、職員としての在り方やマナー研修を行い、職員同士で改めて働き方の姿勢を学ぶことが出来た。また、園児の命や安全を守るためにバスの安全運転講習を行った。(資料 2-4)</p>
----------------	--

3.評価項目および取り組み状況

評価分類		取り組み状況
<p>保育の計画性</p>	<p>園の教育理念・教育方針の理解</p>	<p>○園の教育理念や教育方針を常に理解し、教職員で話し合い園の目指す幼児の姿を具体的にイメージしながら日々の保育にあたっている。</p>
	<p>指導計画の作成</p>	<p>○園の方針を指導計画や保育に生かし、教育要領や幼児の実態等を元に考えて作成している。</p> <p>○長期の指導計画は毎年見直しを行い、また短期の指導計画は幼児の実態に常に対応できるような順応性のあるものにしてている。</p> <p>○総合的な活動ができるように考慮して作成している。</p>
	<p>環境構成</p>	<p>○ 指導計画に基づいて幼児が主体的に関わりたくなるようにまた安全面に考慮して環境構成をしている。</p> <p>○ 楽しい雰囲気の中で安定して遊びこめる、時間や環境の構成に努めている。</p> <p>○ 季節の変化や、幼児の発想を柔軟に取り入れて、保育室の装飾や展示を考えている。</p>
	<p>保育と計画の評価と反省</p>	<p>○ 自分の保育の評価と反省を日々、保育日誌として記載し、月ごとに職員で、反省・評価を行っている。</p> <p>○ 評価・反省は次の保育を見直す材料となるよう反省ノートとしてすぐ開示できる。</p>

保育の在り方 幼児への対応	健康と安全への 配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○ 幼児の体調には常に気を配り体調が悪そうな幼児には安静や検温など適切な処置を行い家庭に連絡を入れるようにしている。 ○ けがや事故には特に気を配り、危険が予測される場合は、幼児たちと一緒に見たり考えたりして気付かせるように配慮している。 ○ 園内に危険な箇所がないか、遊具は安全か毎週点検を行っている。 ○ 感染状況等は、ほけんメールとして、保護者に配信している。
	幼児のみとりと 理解	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人ひとりの幼児をよく理解する為には、観察、予測、推察が大切であることを理解し、自分の一方的な感じ方や考え方で決め付けないよう心がけている。
	指導とかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 幼児にあわせて同じように動いたり同じ目線にたつてものを見つめたりするように心がけている。 ○ 遊びの援助者であることを理解し幼児にヒントやアイデアをすぐに提供できるようにしている。 ○ 幼児のことについて常に保育者同士で話し合い、クラス、学年を超えて情報を共有している。 ○ 異年齢児とのかかわりがもてるように、チーム保育（たてわり保育）を取り入れている。
教師としての 資質や能力・ 良識・適性	専門家としての 能力・良識・義務	<ul style="list-style-type: none"> ○ 幼稚園教諭としての専門知識や技能を常に身に付けていけるよう年間を通しての研修や講習会に参加している。 ○ 良識ある社会人としての心がけを忘れない。 ○ 職員のしおりを作成し、飯倉幼稚園の職員としてのあるべき姿を共通理解できるよう努めている。
	組織の一員として の在り方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員全員でひとつのチームであることを意識している。
保護者への対応	情報の発信と受信	<ul style="list-style-type: none"> ○ 連絡帳を利用して、幼児の様子を写真などを交え、伝わりやすいように配慮しながら、知らせている。また日々の様子について特記すべきことは必ずその日に連絡をとるようにしている。 ○ ホームページやインスタグラム、YouTube 等の SNS で園での様子を配信している。 ○ 園だよりでは、写真を取り入れたり、子どものつぶやきを入れるなど、わかりやすい情報公開に努めている。 ○ 保護者からご意見をいただいた場合は、まず謙虚にその話を聞き、内容によっては、職員全体で検討し、共通理解の上で対処している。

研修と研究		<ul style="list-style-type: none"> ○ 年間を通じての研修、および園児夏休み中に集中研修をうけている。また、オンライン研修なども活用し、多くの研修に参加できている。 ○ 園内研修を設け、研修内容を教職員で共有し保育に生かせる工夫をしている。 ○ 研修後は報告書の作成を徹底している。 ○ ティーム保育として教師が他のクラスに入り、クラス担任の保育を見学して、保育の意見交換をし 職員全員で全園児を共通理解できるように、園児の個性を共有する時間を取っている。
-------	--	---

4. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
指導計画について	<p>「見える化計画」3か年計画が終了した。これまでの3年間で現状を把握・可視化した事を今後の指導の計画を改めて立て直し確立する事を目標とする。また、職員の業務内容の見直し・改善も行う。年齢毎の指導計画を再構築し、保育目標の基盤を作る事により、その時の子どもの様子や時代に合った柔軟性のある保育を展開することを目指す。</p>
教師の資質指向上にむけて	<p>自園の特色でもある、職員の研修・学びの場にもなっているティーム保育の回数を更に増やし、園児の共通理解、保育内容の研究などを行っていく。また、このティーム保育を基に園内研修を取り入れるなど、教師一人ひとりが意見交換をしながら、保育の疑問点や改善点などを話し合う場を作ることを目指す。このことにより、教師同士のコミュニケーションの場を作るなど、チームとしての意識を更に深める事が出来るようにする。また、交流保育や連携施設園との関わりを密接にする事で、他園や地域など広い視野で飯倉幼稚園を客観的に捉えることで資質指向上を目指す。業務の面では、今年度実施した「PJ ボード」を更に活用し、様々な職員の視点から改善点を提案し、全体で集まり、話し合いをする時間を設け、意見を発言・実行出来るよう、業務の効率化を図ることを目標とする。</p>

5. 施設関係者評価結果について

ホームページ上に「結果報告書」を公開しています。

6. 財務管理

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。

7. 本、自己評価結果について

ホームページ上に「結果報告書」を公開しています。

令和6年度年間カリキュラム		※は2023年度の変更点		(年長組)			
学年	学年目標	教育内容	学習活動	評価	指導	評価	指導
4	1. 社会生活の中で必要な生活習慣を身に付け、健康な生活を送る。	健康	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成
5	1. 社会生活の中で必要な生活習慣を身に付け、健康な生活を送る。	健康	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成
6	1. 社会生活の中で必要な生活習慣を身に付け、健康な生活を送る。	健康	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成
7	1. 社会生活の中で必要な生活習慣を身に付け、健康な生活を送る。	健康	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成
9	1. 社会生活の中で必要な生活習慣を身に付け、健康な生活を送る。	健康	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成
10	1. 社会生活の中で必要な生活習慣を身に付け、健康な生活を送る。	健康	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成
11	1. 社会生活の中で必要な生活習慣を身に付け、健康な生活を送る。	健康	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成
12	1. 社会生活の中で必要な生活習慣を身に付け、健康な生活を送る。	健康	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成
1	1. 社会生活の中で必要な生活習慣を身に付け、健康な生活を送る。	健康	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成
2	1. 社会生活の中で必要な生活習慣を身に付け、健康な生活を送る。	健康	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成
3	1. 社会生活の中で必要な生活習慣を身に付け、健康な生活を送る。	健康	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成	1. 生活習慣の形成 2. 食生活の改善 3. 運動習慣の形成

学年のカリキュラム表を作り、
1年間どのような保育を行うのか
内容は適切なのか、
見通しをもって進める事が出来るようにしていった。

【プログラムについて】 昨年度の反省を生かし、プログラムも改訂



年長組はマーチングに引き続き、今年度は組体操を 105 名で披露



音楽発表会やおゆうぎ会の構成も幅広く披露
年長組は 5 年ぶりに音楽発表会で 105 名の歌唱を行った。

資料 2-1

【保育環境】



教師と子どもと共に豊かな表情でコミュニケーションを図ることが出来た

資料 2-2



飯原保育園の年長児との交流では、同学年のお友だちの輪が広がった



親子教室で幼稚園体験を実施

新しいお友達を迎える事で思いやりの気持ちが育まれた

連携施設保育園との交流保育



親子教室で0歳児対象のべびーぴよびよを実施

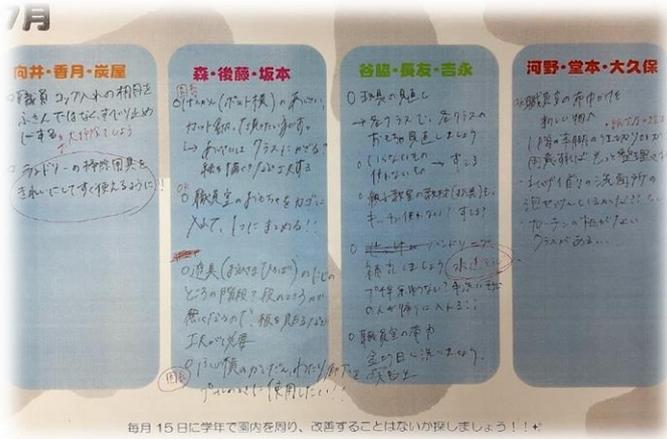


飯原小学校へ小学校体験に参加

見える化計画！



見える化計画の3期目として、昨年度見直した業務やカリキュラムを実行する年にした。



毎月15日にそれぞれのチームで話し合った課題や改善点を持ち寄り、ボードに記入。毎月の会議で考察・見直しを行った。



園児の命を守るため、バスの安全講習を実施。

車内置き去り事故防止装置 カクニくん取り扱いについて

かくにん君

※バス乗降時（エンジン停止時）にアナウンスが鳴ります！

・かくにん君本体サービスカー（車内）

※車内乗降アナウンス（メロディ）
乗降時鳴って聞こえます。子どもは寝ていませんか？シート下の確認をしてみてください。乗降時必ず確認をお願いします。すべての乗降が終了したら点検ボタンを押してください。

⚠️ 子どもの降ろし忘れはないか？ 落とし物はないか？忘れ物はないか？ 隅々まで複数の目で確認をすること！！（前方から後方へ）

↓

確認後ボタンを押す！
（バス内に最後に残る職員が押す事！）
朝→乗車職員
帰→バス先生

※点検の場合はアナウンスが変更されます！！

※乗降サービスカー

※乗降アナウンス（メロディ）
（大音響警告音）
乗降時鳴って聞こえます。乗降に乗り残された人がいないか確認し、乗降が完了したら確認をお願いします。

※車内 SOS アナウンス（メロディ）
（大音響警告音）
乗降に人がいます！確認してください！



夏には職員全員でマナー研修に参加。仕事への向き合い方を改めて学んだ。

↑バス置き去り防止システム
かくにんくんも再度使用方法を確認。